

# 委員会報告

2013～2014 年度

No.1

第 5 回

委員会名	政策・中長期計画委員会
委員長名	L 小堀 光由

開催日時	2013年 10月 22日 水曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
開催場所	キャビネット事務局小会議室					
出席者	×	鈴木地区ガバナー	×	塩月第1副地区ガバナー	×	近藤第2副地区ガバナー
	○	L 小堀光由委員長	○	L 追原篤男副委員長	○	L 篠 順三副委員長
	○	L 松尾志朗副委員長	○	L 川口 学副委員長	○	L 田原 進委員
	○	L 秋本由紀子委員	○	L 外山一宏委員	○	L 洗 昌躬委員
	×	L 小倉 豊委員	○	L 菊池一夫委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
	×	L 菅原雅雄 SPA	○	L 有山 賢担当副幹事		
次第	司会・進行 L 篠 順三					
	1	開 会	L 追原副委員長			
	2	委員長挨拶	L 小堀光由			
	3	前回議事録確認	L 菊池一夫			
	2	配布資料確認	L 川口副委員長			
	3	キャビネット報告(担当副幹事)	L 有山 賢担当副幹事			
	4	審 議 別紙議題による				
	5	その他				
6	閉会挨拶	L 松尾副委員長				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	① 第60回年次大会ガバナーズ・アワード表彰規定について				
	2	② その他				
	3					
	4					
	5					
	6					
次回開催日時	2013年 11月 06日 水曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
場所	キャビネット事務局 会議室 小					
				作成者	L 菊池一夫	

議 題		審議経過事項の概要	
1	開会挨拶	L 追原副委員長	
2	委員長挨拶	L 小堀委員長	
		いよいよアワードに関しましては詰めの段階に入ってきました。できるだけ本日で内容を詰めていきたいと思えます。皆様から忌憚のない意見を頂きたい。との挨拶があった。	
3	前回議事録確認と委員会報告	L 菊池委員	
4	配布資料確認	L 川口副委員長	
5	キャビネット報告	L 有山副幹事 お手元のDREAM ACHIEVER アワードは国際会長のほうで新しく設定された賞となります。菅原SPAから賞の説明の依頼があったガバナー対象に4半期毎に8ポイント設定し、この獲得によりアワードを受賞できるというものとなります。今期は来月のシンガポールの国際フォーラムで鈴木ガバナーが受賞されることになりました。との報告がありました。また、今日審議頂きますアワードの規定に関して先日10月17日の時点までの各委員会からのご回答を小堀委員長にお知らせしました。回答があったものにつきましては、審議の時に都度報告させて頂きます。旨の報告がありました。	
6	議題・審議事項	①第60回年次大会ガバナーズ・アワード表彰規定について	
	L 小堀委員長	早速、懸案でありますアワードについて協議を進めていきます。	
	L 松尾副委員長	統一アクティビティをどうするかについて、別途委員長に資料をお出しさせて頂いた。	
	L 篠副委員長	お手元の資料をご覧下さい。資料に青字と赤字で記入されています。各表彰対象委員会の下にブルーで検討頂いた担当者2名を記入してあります。それ以外の文章中のブルーで追加している文言については、ご担当頂きました皆様にご検討いただいた意見となります。赤字の方は有山副幹事から報告がありましたように、17日までの各委員会からキャビネット経由で当委員会に対する希望・要望事項があったものに対して書かせて頂いています。A1、A2という順番につきましては、今期の構成委員会名簿で上から記載しただけですので後ほど、整理したいと考えています。	
	L 外山委員	先ほどご説明のあった通りで、委員会は今年のプロトコル順で出すのが良いと思えます。各委員会からのご希望があるかと思えますが、委員会としては、ブルーを中心に話しを進めていくのが良いと思われれます。	
	L 小堀委員長	それでは、担当毎にご検討されたこと、あるいは検討したいと思われたことをご説明下さい。	
	A1：広報優秀賞：広報委員会（担当 L 追原副委員長、L 菊池委員）		
	L 追原副委員長	HPなどの取扱いが不明だったので、「ホームページおよびソーシャル	

議 題	審議経過事項の概要
	ネットワークによる PR を含む」と入れたほうが良い。との意見
L 小堀委員長	最終的には私の方から鈴木ガバナーと戸部幹事のほうにメールを送りします。それによって鈴木ガバナーの考えがでてくることもあると思います。
L 外山委員	IT 委員会が別途ありまして、昨年は IT 委員会でホームページやメールの活用、SNS などを合理的に活用しているクラブに表彰を出していますのでそことの調整を考えたほうが良いと思います。
	A2：会員増強優秀賞：会員増強委員会
L 小堀委員長	赤字で回答待ちとなっているが、担当委員会からなにかくるのでしょうか。
L 有山副幹事	会員増強優秀賞につきましては、定例会で変更なしと返答を頂いています
L 追原副委員長	前年度までは、家族会員は含みませんと記載していましたので、そこに賛助会員と入れた方が良いでしょう。との意見。
L 小堀委員長	それでは、この文言をいれましょう。
	金・銀・銅については何をもって決めるのが難しいので、優秀なところが3つあれば、全てに優秀賞をだす方向で考えているとのこと。
	A3:クラブサクセス・退会防止・会員維持優秀賞：クラブサクセス・会員維持委員会
L 小堀委員長	これは、委員会からの依頼事項がございます。「2013年3月1日から2014年2月末までで会員が減少していないクラブ（要掲載：2013年3月1日と2014年2月末日の会員数）というようなものを追加希望です。」
L 追原副委員長	「会員維持への取り組みが顕著なクラブに贈呈します。」→「会員維持への <b>取り組みが顕著で成果が挙げられているクラブに贈呈します。</b> とした方が成果を意識した審査表彰し易いのではないかと。との意見。
L 小堀委員長	審査が楽なので良いのではないかと。全員了承。
	A4 家族会員増強優秀賞：家族会員増強委員会
L 小堀委員長	小川委員長からの依頼事項「アワードは1つだけでしょうか？：今期は対象となるクラブが多数となると思います。時期や数を相対するだけでなくクラブ内で従来反対または慎重としていた中で0（ゼロ）からの会員増強を実施したクラブ会長に対する「特別賞」や「努力賞」などを検討頂けると幸いです。」
	家族会員・賛助会員に対する規定の温度差が激しくなっています。A地区は足並みが揃っていますが、複合に行くとBなど特に意識が低いように感じます。ネガティブな意見も多い。全日本レベルになっても同じかも知れません。過日、山田国際第2副会長からの召集があり複合協議会議長、国際理事、国際委員ご臨席のもと全国ガバナー連絡会が開催され、今年度より家族会員制度を大いに押し進め日本の会員数を倍増しようと一致団結する話がありました。A地区は一枚岩になりつつあります。そこで合同事務局に加盟しているクラブの件はどう進んでいるのかお聞きして

議 題	審議経過事項の概要
	みましたが、それについては1回やってみたが、もう1回やるとのことでした。家族会員はお子さんを入れるのが理想。我々が取り組んでいる事を理解させることで、何かの時にはすんなりと子供たちが正会員として、そのクラブに入って頂く。という大きな展望があつての家族会員制度でございます。次世代を育てる意味でも良いと感じています。
	このような意義の下詰めていきましょう。
L 篠副委員長	赤枠（依頼事項）の「クラブ内で従来反対または慎重としていた・・・」という従来反対ということなどは公に分らない部分なので難しいのではないかと思います。
L 小堀委員長	今年3年目で独立した委員会となり、委員長が過去2年間縛りなどがあり苦勞されてやられてこられ、今期は正面から取り組めることから、週3日～4日詰めて進めていらっしゃいます。思いからすると依頼事項の意味が良く分りますが、当委員会とすれば客観的な観点で申請基準を検討しなければならないかと思います。審査がし易い形にしてあげることが大事だと思います。
L 小堀委員長	また、個人も出すのか、クラブだけにするのかなども検討の必要があります。DREAM ACHIEVERはガバナーに対するものですが、この中でも会員数純増の達成というのがありますから、この枠でいきますと個人が努力した結果としてここにつながるの、この見地からすると個人も考えなければならないのかとも思います。その先にクラブがありますからクラブも必要になってくると思います。
L 追原副委員長	意見は始めてお聞きし、個人をどうするかも悩ましいところではございます。正会員については当然個人も対象になると考えていますが、家族会員に個人を対称にしましても入れる人数には限りがありますから外しても良いかと思います。
	*全員、対象をクラブだけとすることで賛成。
L 篠副委員長	委員会としては、家族会員増強委員会しかないが、このくくりのなかで賛助会員も扱っていますので、A4-1とA4-2に分けさせて頂きました。
L 追原副委員長	賛助会員については「実質的な会員数の25%を確認」という限度を、理解し易くするために記載した方が良く考えます。
L 追原副委員長	家族会員については「最低正会員数確認」を記載する。
L 松尾副委員長	文章の流れからいいますと、「クラブを対象に」の次に「最低正会員数確認後」「相対主義で審査・・・」とつなげたらバランスが良いと思います。
L 追原副委員長	10名以上の正会員数となっていますから、無くても構わないかも知れません。

議 題	審議経過事項の概要
	L 小堀委員長 これは気が付かないクラブもあるかと思しますので、良いのではないかと思います。
	L 松尾副委員長 括弧に入れてもいいでしょうし、文章の中に盛り込んでも、どちらでも宜しいのではないのでしょうか。
	L 小堀委員長 当委員会がアワードの申請基準を作ることによって各クラブに通達が行きます。最終的にはアワード審査会で家族会員増強委員会が悩むことになるかも知れません。当委員会でやるとはアワード申請基準をつくることでもあります。それを基に各クラブが申請したものを、ZCP、RCPを通して上がり、アワード審査会で審査されることとなります。その時に、委員会で基準にのっとり審査することになるとご理解下さい。
	当委員会で申請基準を明確にしていかなければ判断できませんので、そこに焦点をあてたいと思います。
	これは、最低正会員数 10 名以上と入れた方が分かり易いので入れましょうか？
	L 松尾副委員長 そうした方がハッキリしますね。
	L 小堀委員長 では、「クラブを対象に」の次に「最低正会員数（在籍 10 名以上）確認の後」「相対主義で・・・」とすることで宜しいのでしょうか。
	*全員賛成
	L 小堀委員長 A4-2 の「実質的な会員数の 25%を確認」をどう表現しましょうか。
	L 追原副委員長 これは規定で正会員のみで 25%とあります。必携には実質的な会員数の 25%となっていますが、実質的なということが正会員だけという解釈で良いものではないのでしょうか。
	L 小堀委員長 今回は家族会員も代議員数に入りますから、正会員数ではありません。
	L 追原副委員長 25%というときの数式で言いますと、家族会員も入れたもので計算することでもいいのでしょうか。
	L 小堀委員長 そこはアワード委員会にお任せしましょう。当委員会では必携通りとしましょう。
	L 追原副委員長 先ほどと同じく、「クラブを対象に」の次でいいのではないのでしょうか。
	L 小堀委員長 では、「クラブを対象に」の次に「実質的な会員数の 25%を確認の後」「相対主義で・・・」とすることで宜しいのでしょうか。
	*全員賛成
	A5：エクステンション優秀賞：エクステンション委員会
	L 追原副委員長 個人を入れる。申請記載に「個人：指導力を発揮した具体的な事項を記載」を入れる。との意見。前年度は個人とクラブとなっていました。

議 題	審議経過事項の概要
	また、「指導力を発揮した個人に贈呈します。」となっていますが、個人の情報を記載するところが何もありませんので、文言を追加しました。
	表彰するならば必要だろうと感じ入れてみました。
L 小堀委員長	ガイディング L として対象とするならば、個人も明記して下さい。ということですね。
L 松尾副委員長	個人の表彰は今までありましたでしょうか。
L 小堀委員長	年度によってございました。
L 追原副委員長	個人も力を入れて取り組まなければなりませんので頑張ったことを表彰しても良いのではないかと思います。
L 小堀委員長	クラブの中でガイディングライオンとして推薦されてやったことがあります。クラブからの推薦を受けて取り組んだことなので、クラブだけでも良いのではないかと思います。
L 追原副委員長	ガイディングイ L になりますと、毎月の例会に毎月出席されることになります。
L 松尾副委員長	自クラブと新クラブの両方に全部出席する必要があります。
L 追原副委員長	その努力には大変なものがあります。指導力というのは毎月の例会に出席しをして、ライオンズクラブのことなどについて話をしたりすることだけでいいのかも知れませんが、ご努力に応えても宜しいのではないかと思います。
L 小堀委員長	A 地区はガイディング L についての講習会やライセンスなどあるのでしょうか。
L 松尾副委員長	ハッキリと覚えていないが講習会をやりまして、ライオンズのラウンジを知っている方が 1 人もいらっしやらなかったもので、全部一から教えないと分からないようでした。なので、素直に聞いてくださりそれが良かったのかもしれない。でも押したのは所属クラブであって、自分から率先してやったわけではありませんから、どちらかという、スポンサークラブが支える訳ですからクラブで良いのではないかという気がします。
L 追原副委員長	クラブまたは個人に贈呈となっていますので、個人の表彰申請についての記載事項があった方が良いのではないのでしょうか。
L 篠副委員長	まず寄与したクラブに贈呈しますと文言があり、次に要記載の文言がきて、ここまでがクラブについて。そこに個人として同じような文章を入れ分ける。そこに追原副委員長提案の「個人：指導力を発揮した具体的な事項を記載」を入れる。この 2 本立てでいかがでしょうか。
	* 全員賛成
	A6：指導力育成優秀賞：指導力育成委員会
L 篠副委員長	☆記しの 2 番目に積極的に参加したクラブ及び個人となっているが個人を追いかけるのが大変だと思いクエッションを付けました。

議 題	審議経過事項の概要	
	L 洗副委員長	昨年度個人はあったのでしょうか。
	L 篠副委員長	ございました。
	L 小堀委員長	ありましたが対象者はいませんでした。クラブだけです。優秀賞が世田谷ライオンズクラブ、特別賞が平成ライオンズクラブと八王子中央ライオンズクラブ。
	L 松尾副委員長	クラブの中で熱心に参加した者がいたら、個人をカウントするのも大変なのでクラブで推薦の方が良いように思います。
	L 小堀委員長	事務的なことを言いますと、キャビネット主催・協賛の行事及びセミナーへの参加は、クラブ会長宛に通達が行くようになっています。そこでクラブ内の例会などで案内されてから、事務局経由で登録されますので、クラブとしてはカウントが取れることになります。そう考えると、従前どおり残したほうが良いように思いますがいかがでしょうか。 「クラブ及び個人に贈呈します。」で宜しいでしょうか。
		*全員賛成。
		A7:IT 優秀賞 : IT 委員会
	L 有山副幹事	IT 委員会から依頼がきております。(資料配布)
	L 小堀委員長	ここに先ほど外山委員からでたホームページや SNS の利用等についての表彰について書かれております。
		今期の国際会長が出席率に拘っているのはアジアの中で日本だけだとはっきり言われていらっしゃいます。
		世界的に見れば、お互いに顔を見ての出席率に拘っているところは少なく流れとしてはネット例会などを行っているクラブもかなりあるので、家族会員や賛助会員などの例会出席の強制はしなくても良いですよ。と、仰られている。これはライオンズ誌にも載っています。
	L 松尾副委員長	ハガキ例会というの聞いたことがあります。
	L 小堀委員長	メールやソーソーシャルネットワークを利用して例会をやるのも画期的ではありますね。でも組織はこういうことから崩れていくこともありますから検討が必要かも知れません。 これは、特に意見もないようですので、そのままとします。
	L 追原副委員長	こことかぶりますので、先ほどの A1 : 広報優秀賞でのホームページおよびソーシャルネットワークによる PR は削除願います。
		A8 : 敬寿賞 傘寿賞、卒寿賞
	L 有山副幹事	事務局からの依頼ですが、この期間に傘寿、卒寿に該当しない人が申請されてくるそうですので、この文言ではなく、昭和 xx 年 xx 月 xx 日～昭和 xx 年 xx 月 xx 日までに生まれた方というようにして頂きたいということでしたのでご報告させていただきます。

議 題	審議経過事項の概要
L 小堀委員長	その方が分かり易いのでそうしましょう。
	傘寿賞につきましては、昭和 8 年 7 月 1 日～昭和 9 年 6 月 30 日までの方
	としましょう。では(昭和 8 年 7 月 1 日～昭和 9 年 6 月 30 日)に誕生され
	た方で満 80 歳を迎えたグッドスタンディングの・・・としましょう。
	今は数えでやることが多いですが、今回はこのままいきましょう。
	卒寿賞につきましても、大正 12 年 7 月 1 日～大正 13 年 6 月 30 日に誕生
	された方で満 90 歳を迎えたグッドスタンディングの・・・としましょう。
L 松尾副委員長	99 歳：白寿、100 歳：百寿も励みになりますから加えたらどうでしょうか。
L 小堀委員長	分かりました。今年作りましょう。
	百寿：大正 2 年 7 月 1 日～大正 3 年 6 月 30 日、白寿：大正 3 年 7 月 1 日
	～大正 4 年 6 月 30 日に誕生された方になります。
	ア) イ) にウ) 白寿エ) 百寿を追加でよろしいでしょうか。
	* 全員賛成
	B1:YCE 優秀賞・協力賞：YCE 委員会
L 篠副委員長	昨年に準じてそのまま OK。
L 小堀委員長	☆印の YE プログラム・・・は YCE の間違いですね。
	後は、大丈夫のようです。
	A2：薬物乱用防止優秀賞：薬物乱用防止委員会
L 有山副幹事	献血と薬乱については明日確認して連絡致します。
L 篠副委員長	昨年に準じてそのまま OK。
	B3：献血・骨髄移植推進優秀賞：献血・骨髄移植推進委員会
L 洗委員	ブルーの説明。(年間実績→活動回数とした)(要記載に個人を追加)
	(献血回数と奉仕回数を同列に併記する。)
L 小堀委員長	前回は板橋西の 30 万%というのがありました。B3 については宜しいで
	しょう。
	* 全員賛成
	B4：献眼・献腎・臓器移植優秀賞：献眼・献腎・臓器移植委員会
L 洗委員	ブルーの説明。(誤字修正→参加人数)(登録実績等→等を削除し・活動)
	内容を追加。
L 小堀委員長	セミナー等に参加された方の感想は如何だったでしょうか。
L 秋本委員	実際に体験された方が発表なされたので理解し易く大変役に立ちました。
L 松尾副委員長	A 地区よりも B 地区の取り組みが進んでいるようです。医者と一緒になっ
	て取り組んでいるようです。
L 小堀委員長	以上で宜しいでしょうか。
	* 全員賛成

議 題	審議経過事項の概要
	B5：社会福祉・障がい者支援優秀賞：社会福祉・障がい者支援委員会
L 洗委員	前年に準じてそのままで OK。
	但し、記載のガイド支援等が「音声」という言葉が抜けているのかと思い追加しました。
L 小堀委員長	これはそのままの意でガイドです。
	B5 についてはこのままにします。
	B6：環境保全優秀賞：環境保全委員会
L 洗委員	環境保全の実践→環境保全啓蒙活動の活発な実践。
L 小堀委員長	了解しました。
	B7：LCIF 優秀賞：LCIF・ライオンズカード推進委員会
L 外山委員	これは LCIF・ライオンズカードを一緒にした委員会ということでしょうか？
L 小堀委員長	一緒になった委員会となっています。
L 外山委員	それでは、先ほどのやり方と同じで、B7-1：LCIF、B7-2：ライオンズカード推進優秀賞に分けることで宜しいのでしょうか。
L 小堀委員長	ライオンズカード推進優秀賞は、今年の文言をそのまま使いましょう。
	* 全員賛成
	B8：国際大会参加優秀賞：国際大会参加委員会
L 外山委員	委員会から昨年同様ときておりますが、この規定は今年の委員長が決められたものですが、これで宜しいのでしょうか？
L 有山副幹事	担当副幹事から委員長に確認頂いて変更なしときております。
L 小堀委員長	エ. セミナー等に…→現地におけるセミナー等に…にしましょう。
L 有山副幹事	資料から国際協調委員会が抜けているようです。モンゴルと一緒にした委員会です。
L 小堀委員長	B9 を追加し内容は昨年と同じ。
L 篠副委員長	以降番号を振りなおします。
	B10：青年アカデミー優秀賞：青年アカデミー委員会
L 外山委員	委員長の依頼を受け、対象を「クラブ」「個人」に変更。☆印を無くす。
L 篠副委員長	IT をフルに活用した交流をしている委員会でフェイスブック等で瞬時に流したりしているので、良い面と危険な面と両方あるようです。
L 小堀委員長	去年は個人だけです。個人は判断し易いと思います。
	☆印を無くし、クラブに関しては対象期間を設けましょう。
	期間は平成 25 年 2 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日となります。
	* 全員賛成
	B11：青少年育成優秀賞：青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員会
L 有山副幹事	変更なしで回答がきました。

